

今年の漢字は『翔』！

清水寺で発表された今年の世相を表す漢字は「税」であった。一年を通じて増税が議論され続けたこと、所得税や市民税の定額減税の話も出た。インボイス制度やふるさと納税なども含め、一年を通じて税に関する様々な議題が続いたことの反映だろう。

2位は「暑」、3位は「戦」、4位は「虎」らしい。「暑」は猛暑、「虎」は小林君や堀君が絶賛した阪神の優勝であることは言うまでもない。私は投票はしていないが「戦」を選んだと思う。終わりの見えないウクライナ戦争、イスラエル軍によるガザ地区への執拗な攻撃、犠牲者は幼い子供たちであり愚かな戦いである。かたや私たち庶民は異常な猛暑の気候変動と戦い、円安と物価高でももがき苦しみ続けた。WBCでの戦いが唯一の救いかもしれない。

では私の一年を漢字で表すならと考えると、「痛」が最もふさわしい気がする。4月17日単身赴任先の益田でお酒に酔って自転車で転倒、救急車で運ばれ入院するという恥ずかしい出来事があった。まさに「痛恨の極み」である。京都の自宅に戻ってからの生活は周りから見れば実に「痛々しい」様で、皆さんにご心配とご迷惑をおかけしたことは申し訳なく思っており「痛み入る」という言葉がぴったりのようだ。8月10日に6回目のMRI検査を終えて、お酒とゴルフがやっと解禁された。今は普通の日常を取り戻している。ありがとうございました。もう自転車には一切乗っていない(笑)。

豊翔高等学院は、そのまま「翔」という漢字で表したい。スタッフの奮闘はもちろんのことボランティアの先生方の協力、京都の清水先生の受験指導などアットホームな雰囲気大切にしながら、生徒の個々の課題に応えるべき指導が質的にも量的にも評価を得て、多くの生徒と親御さんに豊翔への入学を選択していただいた。今年は高校生の転入生が16名、大阪と京都を合わせて80名の大所帯になった。12月には新たな女性スタッフを迎え、育休中の杏先生の復帰も決まっている。今後も豊翔らしさが守れる指導で生徒の高校生活を応援していきたい。

私の単身赴任はどうももう一年続きそうである。良いお年をお迎えください。

(丹羽 豊)